

『MC-Smart 3』 ご利用時の注意点について

2015年5月
株式会社モリサワ

はじめに

本文書は『MC-Smart 3』『DBカタログオプション (Ver.3用)』『MDS-Smart 3』(以下すべて「V3」)をお持ちのお客様を対象に、ご利用いただくときの注意点を記載しております。

A : 『MDS-Smart 1』(以下「V1」)・『MDS-Smart 2』(以下「V2」)とV3を1台のPCにインストールされる場合

V1・V2とV3を1台のPCにインストールされた場合は以下の状態になり、ご利用の際に注意が必要です。

- 1) V2より複数のメジャーバージョンのインストールが可能になりました。ユーザ外字ピッチ設定とWordReplacerをのぞき、V1～V3の支援ソフトウェアとDBカタログオプション(以下オプションソフトと表記)を1台のPCにインストールすることができます。
- 2) 同一のソフトウェアの複数のバージョンを同時に起動しないでください。意図しない動作結果になる場合があります。

B : V3のみインストールされたPCでV1・V2の設定ファイルを利用する場合

新規購入や利用PCの変更などにより、V3のみがインストールされたPCでV1・V2のオプションソフトで作成した設定ファイルを開いてご利用になる場合、以下の点にご注意ください。

- 1) V3のみがインストールされているPCで、V1・V2のオプションソフトで作成した設定ファイルをダブルクリックで開こうとすると、「保存バージョンが見つかりません。」とエラーダイアログが表示される場合があります。

設定ファイルの右クリックメニューから「バージョンを指定して開く」を選択するか、実行したいオプションソフトを起動し「ファイル」メニューの「開く」より開いてください。詳しくは各オプションソフトのユーザズガイドをご覧ください。

- 2) V1・V2の各オプションソフトで作成された設定ファイルをV3で使用する場合、V3で設定ファイルを開き、保存してご使用ください。

V1～V3のオプションソフトで作成された設定ファイルを混在させて使用すると、意図しない結果になる場合があります。

C：『Smart-MXP』を利用する場合

『DBカタログオプション』付属の『Smart-MXP』で、V1・V2で作成された設定ファイル(*.mss)を利用する場合は、前述のBに加え、以下の注意が必要になります。

- 1) V1・V2で作成された設定ファイル(*.mss)をV3で開き保存した場合も、変換テーブルはV1・V2で指定したテーブルが設定されています。V3の変換テーブルを使用したい場合は再設定が必要になります。

例：MXPの変換テーブルの場所

- ・ MXP for Smart Ver.1.00～1.10 (V1 Ver.1.00～1.50)
C:¥Morisawa¥MXPforSmart¥sys¥table
- ・ Smart-MXP Ver.2.00 (V2 Ver.2.00～2.20)
C:¥Morisawa¥MDS-Smart2¥Smart-MXP¥sys¥table
- ・ Smart-MXP Ver.3.00 (V3 Ver.3.00)
C:¥Morisawa¥MDS-Smart3¥Smart-MXP¥sys¥table

- 2) V1・V2で作成された設定ファイル(*.mss)を、V3のみがインストールされたPCで使用した場合、実行時にエラーが発生します。中間ファイルの場所にV1・V2のインストールフォルダ内のファイルが指定されているためです。

「オプション」メニューから「オプション設定」-「中間ファイル」タブを開き、V3のインストールフォルダ内にファイルをご指定いただくか、または中間ファイルが作成できるようにフォルダを作成してください。

例：Smart-MXP Ver.3.00の中間ファイルの場所

- ・ 行抽出後
C:¥Morisawa¥MDS-Smart3¥Smart-MXP¥usr¥work¥行抽出後.tsv
- ・ ソート後
C:¥Morisawa¥MDS-Smart3¥Smart-MXP¥usr¥work¥ソート後.tsv
- ・ 行データ加工後
C:¥Morisawa¥MDS-Smart3¥Smart-MXP¥usr¥work¥列加工後.tsv

【補足】MXP V3の実行時にソフトウェア内でのみ使用されるテンポラリファイルは、MXPの設定ファイルの作成バージョンに関わらずMXP V3のインストールフォルダ内に作成されるため、MXP V2で提供していたバッチファイルを実行する必要はありません。

D：『Smart-MJF』を利用する場合

『DBカタログオプション』付属の『Smart-MJF』で、V1・V2で作成された設定ファイル(*.mfd)を利用する場合は、前述のBに加え、以下の注意が必要になります。

- 1) Smart-MJFでMC-Smartアイコンを使用する場合「MC-Smartバージョン」アイコンでMC-Smartバージョンを設定してください。バージョンの指定がない場合「MC-Smart実行バージョン設定」で設定されたバージョンで実行されますが、「MC-Smartバージョン」を設定することでフロー内のMC-Smart文書が意図しないバージョンで上書きされることを防ぐことができます。

2) MJFのフロー内の各オプションソフトのアイコンは、設定ファイルの保存バージョンにかかわらず、起動しているMJFのバージョンを基準にして動作します。

たとえばMJF for Smart Ver.1.00を起動して実行した場合は各アイコンもVer.1で実行され、Smart-MJF Ver.2.00を起動して実行した場合は各アイコンもVer.2で実行されます。しかしMJFのフロー内の設定ファイルをダブルクリックで開く場合は、設定ファイルの保存バージョンで開きます。

このためMJFで実行した場合と設定ファイルをダブルクリックで開いて実行した場合とで、実行結果が異なる場合がありますのでご注意ください。

本内容につきましてご不明な点などございましたら、下記までお問合せくださいますようお願いいたします。

●お問い合わせ窓口（月曜日から金曜日の9:00～12:00、13:00～17:15 ※祝祭日・弊社規定休業日を除く）

サポートセンター 本 社 Tel：06-6649-2247 FAX：06-6649-5832

東京本社 Tel：03-3267-1234 FAX：03-3267-1359

E-mail mc-smart-support@morisawa.co.jp